

INSTRUCTION MANUAL

ジーフォース ディライト 取扱説明書

DE:LIGHT

Ver 1.02 202301

2.4GHz 4CH UNDER 99g DRONE with FULL HD CAMERA

ご使用前に必ずバッテリーを充電して下さい。

充電しないで使用すると過放電となり、
バッテリーが使用できなくなる恐れがあります。

- 必ず専用の充電器を使い、充電中はその場から離れず、異常事態に備えて下さい。
- 充電完了後は必ず充電器から抜いて下さい。
- 利用後は必ず機体から外し、ある程度充電後、不燃性のケースに収めて下さい。

⚠ ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。

目次

1. 安全上のご注意	
はじめに	02
2. 製品について	
製品仕様	03
内容物	03
機体各部名称	03
送信機各部名称	04
操作モードについて	04
搭載カメラについて	05
オプティカルフローポジショニング	05
操作モードの変更	05
障害物センサについて	06
3. フライトの準備	
送信機の準備とLi-Poバッテリーの充電	07
アームの展開・収納	08
プロペラガードの取り付け方法	09
プロペラの交換方法	09
スマートフォンの取り付け	10
4. フライトをはじめ	
機体と送信機の接続(バインド)	11
離陸と着陸	12
基本操作	13
ジャイロリセット	14
トリム調整	14
スピードの変更	15
オリエンテーションモード	15
フライト後の確認	16
フライト環境	16
5. アプリとの連携	
スマートフォンとの接続	17
操作画面の説明	18
写真・動画の撮影	19
スマートフォンからの操縦方法	19
チルト操作モード	21
トラッキングフライトモード	21
6. サポート情報	
FAQ	22-23
アフターパーツ	24
製品サポートについて	24
60%交換サービスについて	25

1. 安全上のご注意

必ずお守り下さい

はじめに

この度はジーフォース DE:LIGHT(ディライト)をご購入頂き、誠にありがとうございます。

当製品は1080PのフルHDチルトカメラを搭載し、Wi-Fi通信でお手持ちのスマートフォンとリンクすることで、手軽に高画質な空撮が楽しめます。また、3軸ジャイロ+加速度センサ、気圧センサに加え、底部にピジョン(映像)センサを搭載。さらに、付属の障害物センサを搭載することで、初めての方でも非常に安定したホバリングが行えます。

安全にフライトして頂くため、必ず当説明書を最後までお読み頂き、注意事項をお守り下さい。

フライトについて

- 事前にラジコン製品のフライトが許可されている場所であるか確認して下さい。空港、送電線、鉄道施設、市街地、公共の場所など人の多い場所での飛行はおやめ下さい。天気の良い日中、目視の範囲内でのみフライトし、暗くなったり天候の悪い日には飛ばさないで下さい。
- 電波障害に気をつけて下さい。他の電波使用機器からの影響により、ラジコン用の電波が干渉を受ける場合があります。物理的にも電波的にも障害となる物が無い、見晴らしの良い広いエリアが理想的です。万が一の突発的に起こる電波障害を考慮し、常にあらゆるリスクに備えて下さい。
- プライバシー確保へご配慮下さい。本製品にはカメラが搭載されています。録画/撮影した映像の対象によってはプライバシーの侵害となる恐れがあります。事前に周囲をよく確認していただき、プライバシー確保へご配慮下さい。

ケガにご注意下さい

- 本製品の対象年齢は12歳以上です。
- 回転しているプロペラは大変危険です。機体を人に近づけたり、ハンドキャッチは絶対に行わないで下さい。
- 飛行前には必ず機体を点検して下さい。飛行後も必ず機体を点検し、異常が認められる場合は修理を行うまで絶対に使用しないで下さい。

本製品はLi-Poバッテリーを採用しています

Li-Poバッテリーは小型、軽量、大出力の反面、安全に使い続けるためには適切な状態を保ち、特性上のリスクを考慮して使う必要があります。以下の注意事項を守り、正しくご利用下さい。

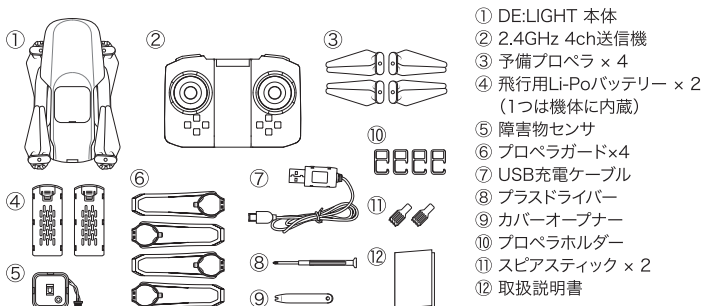
- 電圧低下のサインやパワー感の低下が現れたら使用はやめて充電して下さい。
- バッテリーに変形や匂い等の異常を見つけた場合、絶対に使用せず、廃棄して下さい。
- バッテリーは絶対に分解、改造をしないで下さい。
- 必ず専用の充電器を使い、充電中はその場から離れず、異常事態に備えて下さい。
- 充電完了後は必ず充電器から抜いて下さい。
- 利用後は必ず機体から外し、ある程度充電後、不燃性のケースに収めて下さい。
- 夏場の車内など60度以上の高温状態に放置すると破裂、発火の危険性が有ります。涼しく温度変化の少ない場所に保管して下さい。
- 長期保存の場合は満充電で保管せず、50%~80%程度の充電量にして下さい。保管後は1ヶ月に一度、充電→50%~80%まで減らす作業を繰り返して下さい。
- 使用できなくなったバッテリーは3%~5%程度の食塩水に数週間浸めて放電して下さい。容量がゼロであることを確認し、自治体のルールに則り廃棄をお願いします。

2. 製品について

製品仕様

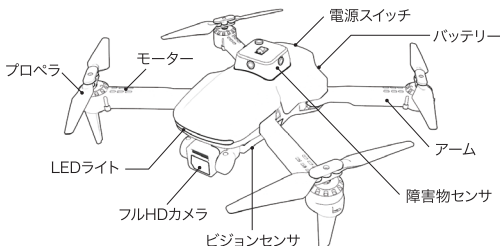
送信機	2.4GHz 4ch MODE1/MODE2切替え仕様		
全長	165mm	充電時間	約80分
全幅	190mm	飛行可能時間	約10分
全高	54mm	電波到達距離	送信機 約30m/Wi-Fi 約20m
重量	99g(バッテリー含む)	動画解像度	1920×1080 (MOV形式)
プロペラ全長	55mm	写真解像度	3840×2160 (JPG形式)
バッテリー	3.7V 600mAh		

内容物

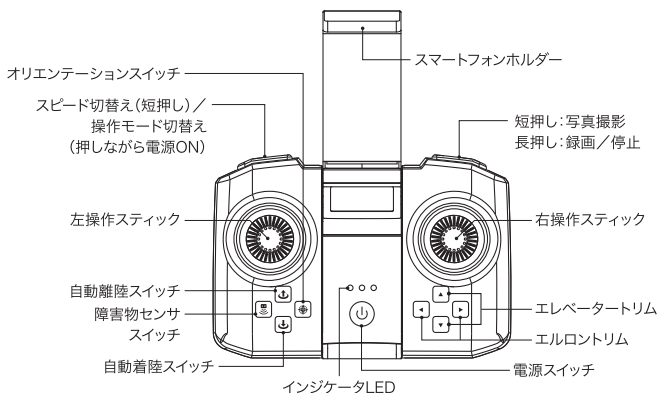


※送信機用単四電池3本は別売です。

機体各部名称



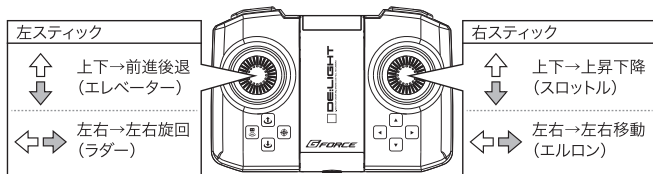
送信機各部名称



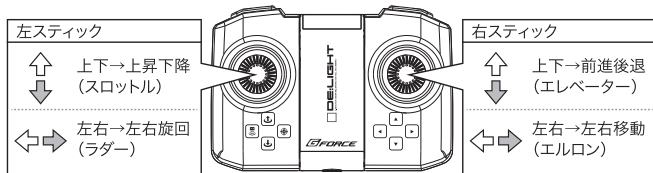
操作モードについて

当製品に付属の送信機では、ドローンの操作方法で主流のモード1とモード2、どちらの操作方法でもお使い頂けます。それぞれのモードでスティックを動かした時の機体の挙動が大きく変わってきます。ドローンの操作が初めての方は、操作方法をよく確認の上、操縦に臨んで下さい。

モード1 (右スロットル)



モード2 (左スロットル)



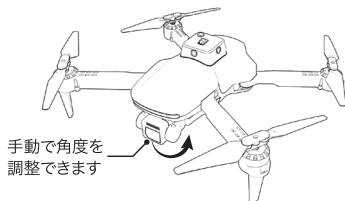
搭載カメラについて

当製品は機体前方に高解像度カメラを搭載しており、Wi-Fi通信によってスマートフォンやタブレット端末のアプリ上からリアルタイム映像の確認、写真・動画撮影が行えます。

カメラの角度は手で自由に変わります。撮影用途に応じてカメラの角度を調整して下さい。

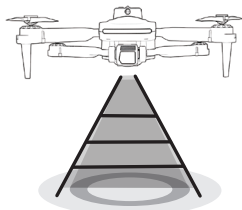
動画解像度 1920×1080 (MP4形式)

写真解像度 3840×2160 (JPG形式)



オプティカルフローポジショニング

当製品は機体底部にビジョン(映像)センサを搭載しています。捉えている映像のズレを検知して、姿勢を自動制御するオプティカルフローポジショニングにより、安定した姿勢制御を可能にします。

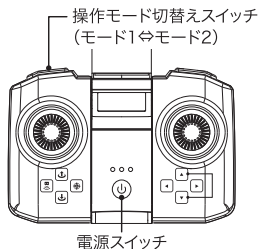


操作モードの変更

送信機の操作モードは標準でモード1(右スロットル)に設定されています。

モード2(左スロットル)で使用する場合は、操作モード切替えスイッチを押しながら電源を入れて下さい。

モード2からモード1に変更する場合も、同様の手順で切り替えます。

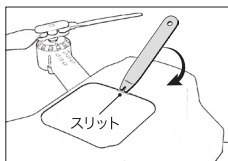


- 送信機は最後に設定した操作モードが記憶されます。別のモードを使用する場合は、操作モードの切り替えを行って下さい。

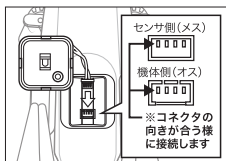
障害物センサについて

製品に付属の障害物センサを取り付けて、障害物センサスイッチをオンにすると、前後左右、上方の5面に対して、自動で衝突を回避する障害物センサモードが機能します。

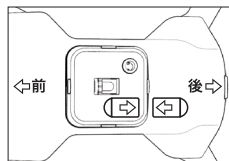
障害物センサの取り付け



付属のカバーオープナーをカバー部のスリットに差し込み、てこの原理で取り外します。



障害物センサと機体のコネクタの向きに注意して接続します。



障害物センサを機体に、カチッと音がするまではめ込みます。向きに注意し、ラベルの矢印が向き合う様、図を参考に付けてください。

障害物センサモード

障害物センサモードを開始する

ホバリング中に障害物センサスイッチ(4P参照)を押すと、送信機から「ピーブ音」鳴り、障害物センサ機能がオンになります。

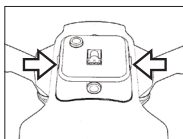
機体LEDがゆっくりと点滅し、センサが障害物を感知すると、機体のLEDが高速で点滅し、送信機から「ディディディ」というピーブ音を発します。

障害物センサモードを終了する

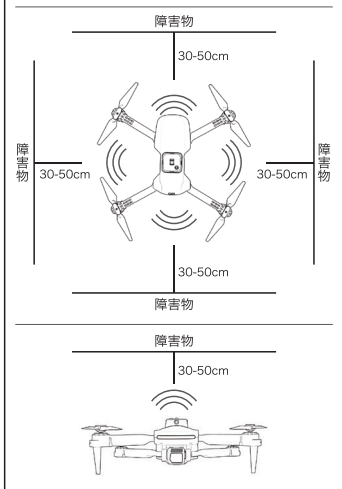
動作中に障害物センサスイッチを押すと、送信機から「ピーブ音」鳴り、機体LEDが点灯になり、障害物センサモードが終了します。

障害物センサの取り外し

右図のように、障害物センサ本体を左右から押して引き抜くと外せます。



障害物センサの検知範囲



- 障害物センサ動作中は、スピード切り替え機能は動作しません。

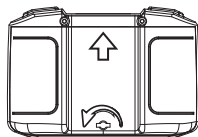
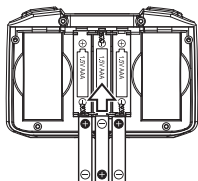
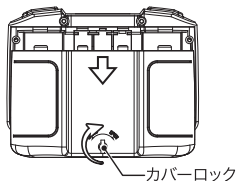
3. フライトの準備

送信機の準備とLi-Poバッテリーの充電

送信機に電池をセットする

送信機には単四乾電池3本(別売)が必要です。下図に従って正しい向きでセットします。

- ①カバーロックを右に回してロックを解除し、電池カバーを外します。
- ②単四乾電池を3本、図のように正しい向きにセットします。
- ③電池カバーを閉めて、カバーロックを左に回してロックします。

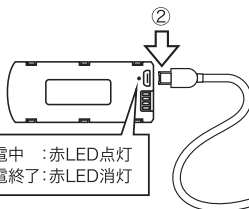
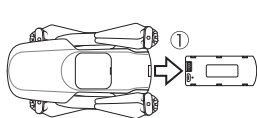


- 送信機に使用する単四電池はアルカリ乾電池をご使用下さい。充電式電池やマンガン電池を使用すると、電圧が異なるため、正常に使用できない場合があります。

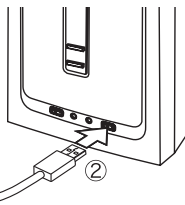
Li-Poバッテリーを充電する

使用する前に必ず充電して下さい。充電しないでフライトすると、過放電状態となり充電する事ができなくなります。また、Li-Poバッテリーは使い方を誤ると、膨張・破裂または発火する可能性があります。以下の説明と、2ページの「安全上のご注意」を守り、正しくお使い下さい。

1. 機体からバッテリーを取り外します(①)
2. バッテリーの充電ポートに充電ケーブルのコネクタを挿します(②)
3. USB充電ケーブルのUSB端子をUSBポートに挿します(③)
充電中は充電ケーブル内部のLEDが点灯し、消灯すると充電完了です
4. 充電完了後は速やかにバッテリーとUSB充電ケーブルを外して下さい



充電中 : 赤LED点灯
充電終了 : 赤LED消灯



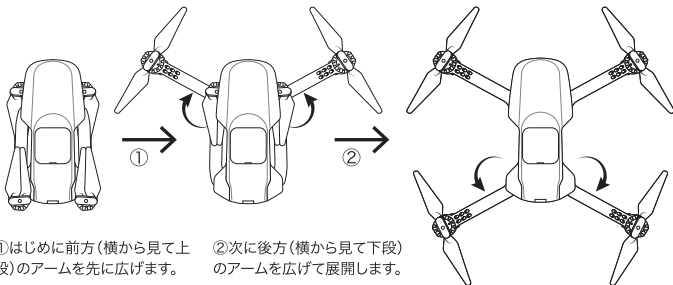


- 充電しないで使用すると、過放電状態となり充電できなくなります。
- 充電中はその場から離れず、異常事態に備えて下さい。
- バッテリーに異臭や変形、異常な発熱、発煙等の異常があった場合、直ちに充電を中止し、充電ケーブルをPCから取り外して下さい。
- 充電には、必ず付属の専用充電ケーブルをお使い下さい。
- 充電完了後はバッテリーと充電ケーブルをつないだ状態で放置せず、速やかにバッテリーと充電ケーブルを取り外して下さい。

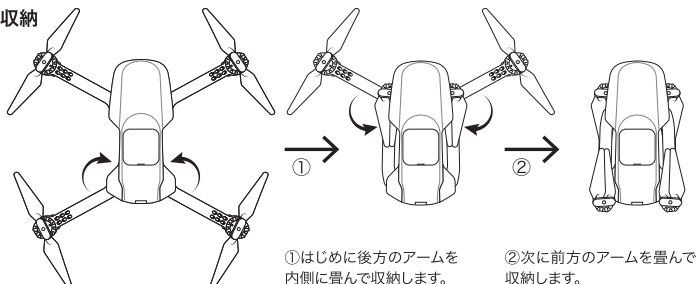
アームの展開・収納

下図の方向にアームを回転する事で、機体の展開、収納ができます。

展開



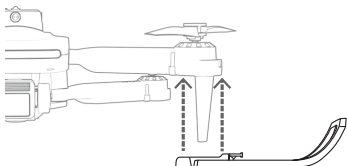
収納



プロペラガードの取り付け方法

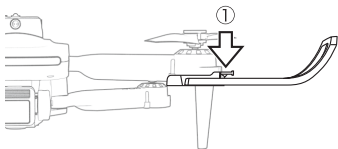
下図を参照し、プロペラガードを取付けます。プロペラガードの向きに注意し、しっかりと押し込んで下さい。4本とも同様に取付けます。

取り付け方法



アーム下部からカチッと音がするまで、しっかりとめ込みます。

取り外し方法



プロペラガードのツメ(①)を押して、ロックを外す様にして取り外します。

プロペラの交換方法

プロペラの取付け位置には決まりがあります。取付け位置を誤ると、フライトができないので、下記説明に従って正しい位置に取付けて下さい。

1. プロペラを止めているネジを反時計回りに回して、プロペラを取り外します。(図1)
2. プロペラのAとBを間違えない様に(図2)ネジを時計回りに回して、プロペラを取付けます。

図1

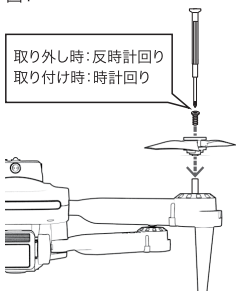
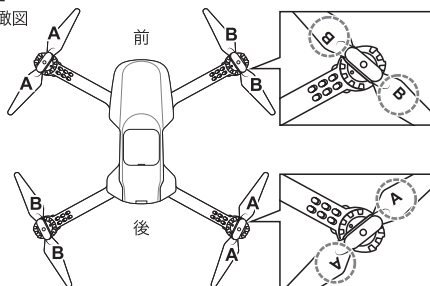
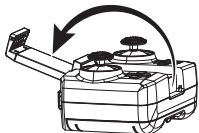


図2
俯瞰図

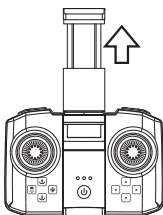


スマートフォンの取り付け

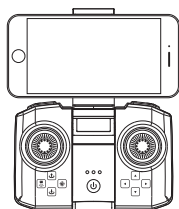
送信機のスマートフォンホルダーにスマートフォンをセットすることができます。



①送信機のスマートフォンホルダーを展開します。



②ホルダーの先端を伸ばして、スマートフォンをセットします。



③しっかりと固定されているか、確認して下さい。

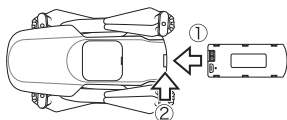


- ご使用前にスマートフォンがしっかりセットされているか、フライト前によく確認して下さい。使用中にスマートフォンが落下し、破損する恐れがあります。本製品の使用によって生じるいかなる損失、損害に関して弊社は一切責任を負いません。

4. フライトをはじめる

機体と送信機の接続(バインド)

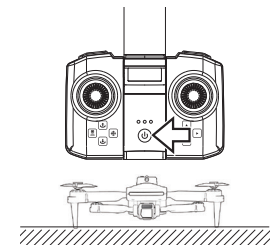
フライトを始めるには、機体と送信機をリンクさせる必要があります。このリンクさせる作業をバインドと呼びます。以下の手順に従い、正しくバインドを行って下さい。



1. バッテリーを接続し、機体の電源を入れる

向きを間違えないよう、バッテリーを機体後方に「カチッ」と音がするまで差し込みます。(①)

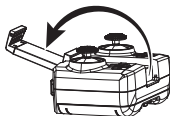
機体の電源スイッチを長押しすると、機体のLEDが高速で点滅し、電源が入ります。(②)



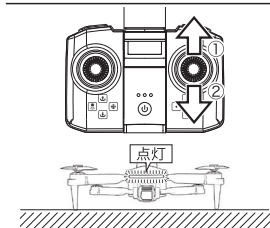
2. 機体を水平な場所に置き、送信機の電源を入れる

機体を水平な場所に置き、安全のため1m以上離れてから送信機の電源を入れます。

※モード2で使用する場合は5Pの操作モードの変更を参照して下さい。



← 電源スイッチを入れる時は、送信機のスマートフォンホルダーを開けて下さい。



3. 送信機のスティックを上→下と動かします

送信機から「ピー・ピッ」と音がし、機体のLEDが点滅から点灯に変わればバインド完了です。



- バインドを行う前に、機体のバッテリーを充電して下さい。
- 本体に破損が無いか、プロペラが4枚とも欠けや曲がりがないかを確認します。
- バインド中は機体を動かさない様ご注意ください。
- バインド終了後は必ず機体と送信機の電源を切り、機体からバッテリーを抜いて下さい。
- 長期間使用しない場合は、送信機から乾電池を抜き、機体のバッテリーは満充電後1～2分程フライトさせ、ある程度減った状態で保管して下さい。

自動離陸 / 自動着陸

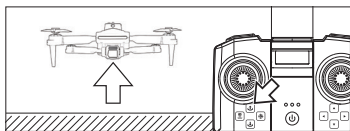
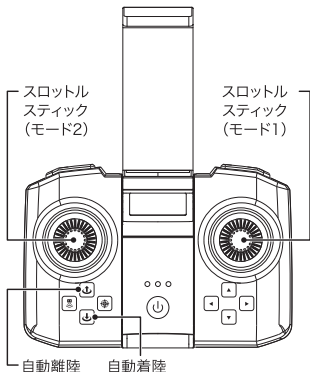
自動離陸:

1. バインドが完了した状態で自動離陸ボタンを押すと、機体が一定の高度まで上昇します。

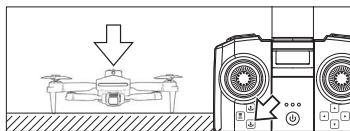
自動着陸:

1. 空中で自動着陸ボタンを1回押します。
2. 徐々に降下してくるので、舵を切りながら任意の場所に誘導します。
3. 地面に接地後、停止するまで数回バウンドする事もあるので、プロペラが完全に停止するまで目を離さないで下さい。

※自動着陸中にスロットル操作をすると、自動着陸がキャンセルされます。



離陸ボタンを押すと機体が一定の高さまで上昇します



自動着陸ボタンを押すと、徐々に降下し、接地後プロペラの回転が止まります

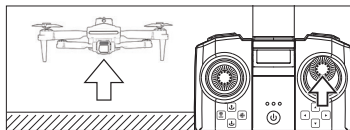
手動離陸 / 手動着陸

手動離陸:

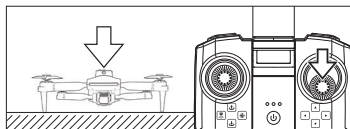
1. バインドが完了した状態でスロットルスティックを上げるとモーターが回転し、アイドリング状態になります。
2. スロットルスティックをセンターに戻し、再度スロットルスティックを上上げると、機体が一定の高度まで上昇します。

手動着陸:

1. スロットルスティックを下に下げると、降下します。
2. 機体が着地し、モーターの回転が完全に止まるまでスロットルを下に入れ続けて下さい。



アイドリング状態でスロットルスティックを上げると、機体が一定の高さまで上昇します。

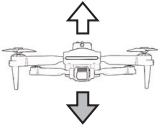
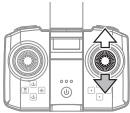
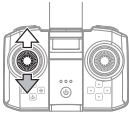
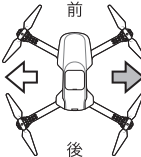
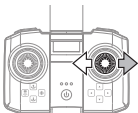

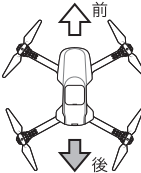


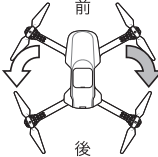
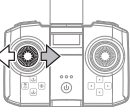
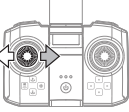


スロットルスティックを下げ続けると機体が降下、着陸します。

基本操作

離陸後は左右のスティックを使い、機体を操縦します。操作モードによって操縦の仕方が異なりますので、下記操作方法をよくご確認の上、ご使用下さい。

操作モードは初期状態ではモード1で動作します。

操作方向	モード1	モード2	
			上昇・降下(スロットル) スティックの上下操作で機体の上昇、降下を行います。スティックを離れた位置で高度を維持します。
			左右移動(エルロン) スティックを傾けた方向に機体が傾き、左右の移動を行います。
			前進・後進(エレベーター) スティックを傾けた方向に機体が傾き、前後の移動を行います。
			左右旋回(ラダー) スティックを傾けた方向に機体が回転し、旋回動作を行います。



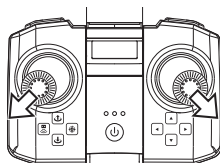
- 離陸後に機体が1方向に流れてしまう場合は、ジャイロリセット(14P)をお試し下さい。
- 急に操作すると危険なので、慣れるまではゆっくり動かすようにしましょう。
- 何も操作していなくても気圧の変化により機体は上下します。室内でご利用の際は、扉の開け閉めなどによる気圧の変化にご注意下さい。

ジャイロリセット

フライト中に前後左右に機体の流れ、トリムでも改善できない場合はジャイロリセットを行う事で改善できる場合があります。

1. 機体をフライトできる状態にして水平な場所に置きます
2. 左スティックを左下、右スティックを右下で同時に保持します(図1)
3. 送信機から「ピーッ」と音がして、機体のLEDが点滅します。機体のLEDが点灯に変われば完了です

図1



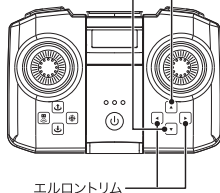
トリム調整

機体が上空に上がった際、スティック操作をしていない状態で前後左右に移動してしまうズレをトリムボタンで微調整することができます。

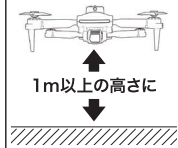
トリム調整は、機体が1m以上の高さにある状態で調整する必要があります。地上付近では、自身が出す風の影響により正しく調整できないため、必ず1m以上の高度で行います。

※トリム調整は記憶されません。電源を入れるたびにニュートラルの状態にリセットされます。

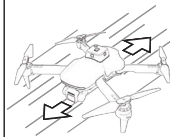
エレベーター
トリム



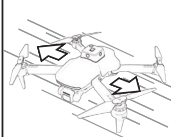
トリム調整時の 重要な注意点



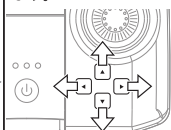
機体が前進または後進してしまう



機体が左右に移動してしまう



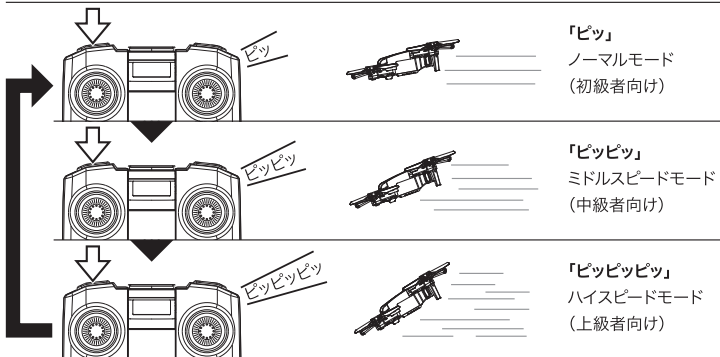
移動する方向と反対に数回動かして調整します。



スピードの変更

スピード切替えスイッチを押すとフライトスピードを変更することができます。スイッチを押すごとにモードが切り替わり、3段階のスピード調整が可能です。

(初期状態はノーマルモードになります)

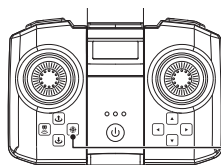


- 通常より機敏な動きができるようになりますが、操縦難易度が上がります。十分に練習を行ってからお試しください。

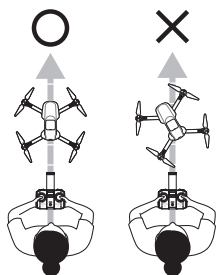
オリエンテーションモード

オリエンテーションモード中は機首の向きに関係なく、エルロンスティックを左右に動かすと機体は左右に、エレベータースティックを前後に動かすと前後に動くようになります。

1. 機体をフライトできる状態にします
2. 機体を水平な場所に置き、機体と送信機が一直線に並んだ状態で、オリエンテーションボタンを押して下さい
3. 送信機から「ビッ」という動作音が鳴り、機体のLEDがゆっくりと点滅すれば、オリエンテーションモードが有効になります
4. 再度オリエンテーションボタンを押すとキャンセルできます



機首が前方を向いた状態で行う



フライト後の確認 - 電源の切り方・機体の破損を確認する -

1. 使用後は機体→送信機の順に電源を切り、LiPoバッテリーを外して保管して下さい。
2. フライト後のモーターは過熱しており、手で触れると火傷する場合があります。充分注意して下さい。プロペラやネジが緩んでいたり、パーツが破損したりしていないか確認します。ネジが緩んでいたり破損している場合は、適切にパーツ交換、メンテナンスを行って下さい。
3. LiPoバッテリーも熱を持っていますので、取扱いには充分注意して下さい。熱を持った状態ですぐに充電せず、十分に自然冷却させてから充電して下さい。

フライト環境

1. 飛行エリアは屋外で高い建物やその他の障害物の無いところが理想です。
2. 天候の悪い日には飛ばさず、天気の良い日中、目視範囲内でのみ飛ばして下さい。
3. 市街地、公共の場所、人が集まる場所では飛ばさないで下さい。
4. 送電施設、空港施設、鉄道施設の近くで飛ばしてはいけません。
5. その他自治体の規則に則り、ラジコン製品のフライトが許可されている場所でご利用下さい。



高圧線や鉄道施設の近く



空港施設の近く



高磁気環境下



悪天候

5. アプリとの連携

スマートフォンとの接続

本製品はタブレットやスマートフォンと連携できるWi-Fiカメラを搭載しています。以下の手順でモバイル機器と接続する事でリアルタイムの映像を見たり、写真や動画を撮影できます。

自動離陸 / 自動着陸

お手持ちのスマホに専用アプリ「LIVE CAM CAM」をインストールします。

下記QRコード、またはAppStoreおよびGooglePlayから「LIVE CAM CAM」を検索し、ダウンロードとインストールを行って下さい。



[iOS]



LIVE CAM CAM
iOS: 8.0以降、
Android: 4.2以上



[Android]

Wi-Fi 接続

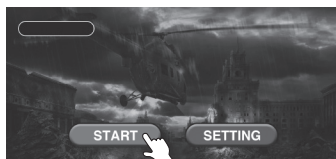
1. 機体をフライトできる状態にします。
2. 接続する機器のWi-Fi設定に入ります。
3. 新しく検出したアクセスポイント「delight-XXXXXX」を選択します。

※接続時にエラーが表示される場合は、エラーの内容を元に端末のWi-Fi設定を見直し、改善しない場合は各メーカーへお訪ね下さい。



アプリの起動

1. インストールした「LIVE CAM CAM」アプリを起動します。
2. 初期画面の「START」をタップします。
3. 操作画面に映像が出てくれば接続完了です。

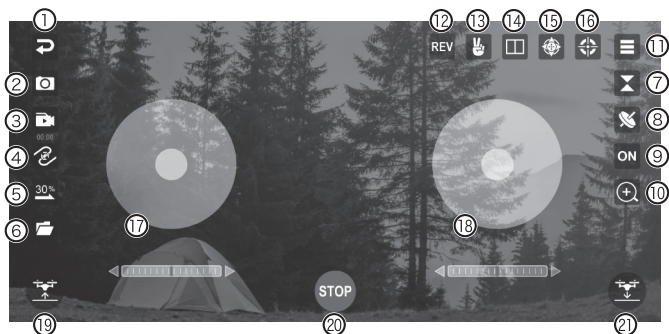


初期画面



操作画面

操作画面の説明



※画面は開発中の物です。

- ① 前の画面に戻る
- ② 写真撮影
タップすると静止画が撮影できます
- ③ 動画撮影
タップで録画開始。もう一度タップすると録画が終了し保存されます
- ④ トラッキングフライトモード
指でなぞったルートで飛行するモードです
- ⑤ スピードの変更
機体の動作速度を3段階で変更できます。
30% (低速) → 60% (中速) → 100% (高速)
- ⑥ 撮影データ閲覧
撮影した写真、動画を確認できます
- ⑦ 気圧センサーのON/OFF
スマホで操作する場合はONにします
- ⑧ チルト操作モード
スマホの傾きで操作するモードにします
- ⑨ 操作パネルのON/OFF
スマホで操作する場合はONにします
- ⑩ ズーム
画面のズームイン・ズームアウトを行います
- ⑪ 追加メニューの表示/非表示
⑫～⑬のメニューを表示します
- ⑫ 映像の上下反転
映像が逆になっている時に上下反転します
- ⑬ ジェスチャーコントロール
ジェスチャーコントロール撮影機能のON/OFF
👉…写真撮影 👉…動画撮影
- ⑭ VRモード
画面が左右分割表示されます
- ⑮ オリエンテーションモード
機首の向きに関係なく操作できます
- ⑯ ジャイロリセット
ジャイロキャリブレーションを行ないます
- ⑰ 左操縦桿
機体の操縦に使います
- ⑱ 右操縦桿
機体の操縦に使います
- ⑲ 自動離陸
タップすると機体が浮上し自動離陸します
- ⑳ 緊急停止
プロペラの回転が止まり緊急停止します
- ㉑ 自動着陸
タップすると機体が降下し自動着陸します

※アプリの画面、操作メニューは開発中の物です。バージョン等により変更される場合があります。

写真・動画の撮影

スマートフォンとの接続中、アプリ上のアイコンをタップする事で写真や動画の撮影が行えます。撮影したデータはスマートフォンに保存されます。

① 写真撮影

タップすると写真(静止画)が撮影されます。

② 動画撮影

タップで録画開始。

もう一度タップすると録画が終了し保存されます。

動画解像度	1920×1080 (MP4形式)
写真解像度	3840×2160 (JPG形式)

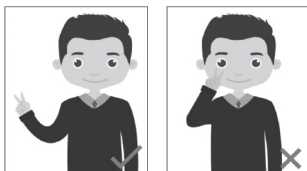
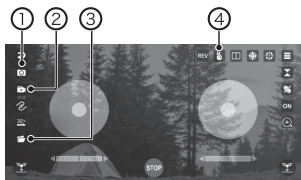
③ 撮影データ閲覧

撮影した写真、動画を確認できます。

④ ジェスチャーコントロールで撮影する

特定のモーションに反応して自動で撮影するジェスチャーコントロール機能を搭載しています。カメラに向かって以下のモーションを行う事で自動で撮影が開始されます。

👉…写真撮影 👏…動画撮影



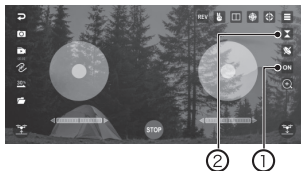
- カメラの正面に立ち、2m程度離れた状態で行って下さい。
- 暗い場所、逆光ではジェスチャーの認識がし難くなる場合があります。

スマートフォンからの操縦方法

スマートフォンから操縦を行う場合は、送信機とバインドされていない状態で接続して下さい。

はじめに操作画面で①をタップし、操作パネルを表示させます。機体のLEDが点滅から点灯に変われば操縦可能な状態になります。

※②のアイコンが白い状態の時は、タップして気圧センサをアクティブにして下さい。



離着陸と緊急停止

自動離陸

操縦可能な状態で①の自動離陸アイコンをタップすると機体が上昇し、一定の高度でホバリングします。

自動着陸

フライト中に②の自動着陸アイコンをタップすると、機体が降下し着陸します。

緊急停止

③の緊急停止アイコンをタップすると、プロペラの回転が止まり、緊急停止します。



基本操作

操作方向	モード1	モード2	
			上昇・降下 (スロットル)
			左右移動 (エルロン)
			前進・後進 (エレベーター)
			左右旋回 (ラダー)

チルト操作モード

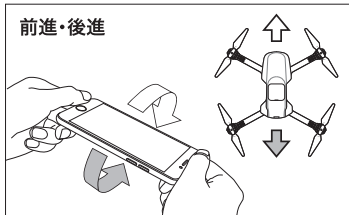
スマートフォンを水平に持ち、チルト操作モードをONにします。自動離陸で離陸後、前進後進、左右移動、この4方向の動作がスマホの傾きに連動して動作します。

上昇・下降、左右旋回の操作はパネルのタッチ操作で行います。



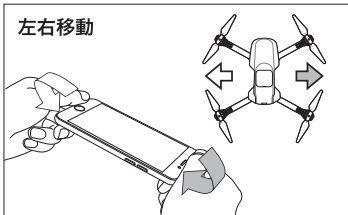
アイコンが黄色に変われば、チルト操作モード。

前進・後進



スマホを奥に傾けると前進、手前に傾けると後進します。

左右移動



スマホを左に傾けると左に、右に傾けると右にスライドします。

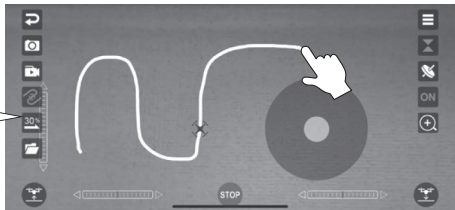
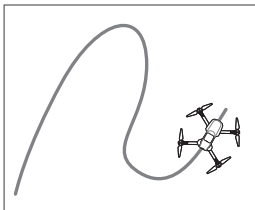
トラッキングフライトモード

操縦可能な状態でトラッキングフライトモードをONにすると、トラッキングフライトモードになります。

自動離陸で離陸後、指で描いたルートに沿って飛行します。上昇・下降の操作はパネルのタッチ操作で行います。



アイコンが黄色に変われば、トラッキングフライトモード。



スマホに描いたルートと同様の軌跡で機体が飛行します。

6. サポート情報

FAQ

Q1. 機体にバッテリーをつないでも反応しない

- A1. バッテリーしっかりと奥まで挿されているか確認して下さい。
- A2. バッテリーは正しく充電されていますか？他のバッテリーでお試し下さい。
- A3. 機体の電源スイッチがONになっているか確認して下さい。

Q2. 機体が墜落・接触などによって反応しなくなった

- A1. 一旦機体からバッテリーを外し、再度バッテリーを接続し直してみてください。
- A2. 機体の受信機は精密機器ですので、強い衝撃を受けると破損する場合があります。

Q3. 今まで問題なくフライトできていたが、突然不安定になった

- A1. LiPoバッテリーが劣化してくるとフライト時間が極端に短くなったり不安定な挙動になる場合があります。バッテリーを交換してみてください。
- A2. プロペラに変形や破損がないか確認し、問題がなければ一旦着陸させ、14Pの[ジャイロリセット]を行ってみてください。

Q4. フライト中、振動してしまう

- A1. ポディ・プロペラに破損や変形があると振動につながります。破損・変形がある場合は対象部位を交換して下さい。

Q5. プロペラを換えたら離陸できなくなった

- A1. プロペラの向きを正しく取り付けないとフライトできません。プロペラの取付位置に誤りがないか、9Pの[プロペラの交換方法]でご確認下さい。

Q6. 1つだけモーターが回らなくなってしまった

- A1. モーターはフライトごとに劣化していきますので、交換が必要になります。モーターの回転方向に注意し、アームユニットを交換して下さい。

Q7. 他の送信機で飛ばすことはできますか？

- A1. 当製品の送信機は専用品ですので、他の送信機をご使用頂くことはできません。

Q8. 修理・調整を行ってもらえますか？

- A1. 恐れ入りますが、弊社では修理・調整は行っておりません。有償にて新しい商品と交換することは可能です。定価の60%（別途送料等ご負担頂きます）の価格で提供致します。販売店様または弊社サポートへお問い合わせ下さい。

Q9. 購入したばかりだが最初から全く動かないまたは最初から破損箇所がある

- A1. ご不便をお掛けし申し訳ございません。ご購入頂いた販売店様にまずご相談頂けますようお願い致します。必ず販売店様が発行された日付入りの領収書・納品書等をお手元に保管頂けますようお願いいたします。

Q10. 機体単体で購入できないの？

- A1. 現在のところ機体単体での発売はございません。

Q11. オリエンテーションモードがうまく動作しません

- A1. 機体を飛べる状態にした後、地上で機体と送信機が同じ方向を向き、一直線に並んだ状態でオリエンテーションスイッチを押して下さい。

Q12. 屋外でのフライトはできますか？

- A1. はい、可能です。ただし、風があるときは紛失や墜落の恐れがありますから十分ご注意ください。また、フライトさせる場所は取扱説明書に従い、安全であることを十分ご確認の上お楽しみ下さい。

Q13. 屋外で飛ばすのに免許や申請は必要ですか？

- A1. 本製品は【100グラム未満】になり、航空法で定める「無人航空機」には該当しません。映像伝送も2.4G帯Wi-Fi電波を利用しているため免許や申請は必要ありませんが、楽しく製品をご利用いただくために、取扱説明書の内容に従い、安全とプライバシーにご配慮下さい。

Q14. Android端末で、アプリケーションに映像が映らない

- A1. 機体から出ているWi-Fiと接続できているにも関わらず、映像を確認できない場合は以下の方法をお試し下さい。
「Wi-Fiはインターネット未接続です」というメッセージ(図1)をタップすると「接続を維持しますか?」というメッセージ(図2)が表示されるので、「はい」と回答する。



図1



図2

- A2. 端末を機内モードにして頂いた状態でWi-Fiの接続を改めて行い、アプリケーションをご確認下さい。
- A3. 端末に入っているSIMカードを抜いた状態でWi-Fiの接続を行い、アプリケーションをご確認下さい。
(※SIMカードを抜いたことによる損害・損失に関して、弊社は一切責任を負いません)

アフターパーツ

品番	JAN	品名
GB341	4580416463416	フロントアームセット(A・B各1本入)(DE:LIGHT)
GB342	4580416463423	リアアームセット(A・B各1本入)(DE:LIGHT)
GB343	4580416463430	プロペラガードセット(DE:LIGHT)
GB344	4580416463447	プロペラセット(4セット入)(DE:LIGHT)
GB345	4580416463454	ボディセット(DE:LIGHT)
GB346	4580416463461	カメラモジュール(DE:LIGHT)
GB347	4580416463478	障害物センサモジュール(DE:LIGHT)
GB348	4580416463485	LiPo Battery 3.7V 650mAh(DE:LIGHT)
GB194	4580416461948	USB充電ケーブル

※当社では個人のお客様への直接販売は行っておりません。アフターパーツのお求めは、お取り扱い店舗様までお問い合わせ下さい。

製品サポートについて

保証・修理規定

保証については、初期不良品のみに対応となります。

保証を受ける際には領収書、レシート、納品書など購入時期を証明するものが必要です。

購入時期を証明できない場合には初期不良品としての対応は致しかねます。

初期不良品につきましてはお手数ではございますが、弊社へお送り頂く前に事前に電話にて弊社までご連絡頂けますようお願い致します。

ご使用後の製品の破損などによる修理依頼は新品への有償交換とさせていただきます。

※税込定価の60% (送料・代引手数料別)

初期不良交換、修理有償交換ともに付属品等を完備のうえでお送り下さい。

欠品があった場合、交換対応をお断りさせていただくことがあります。

ご不明な点は弊社カスタマーサポートまでお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

製品カスタマーサポート： **03-6206-0059**

電話受付：月曜日～金曜日（祝日・夏期休暇・年末年始を除く）

受付時間：10:00～12:00 / 14:00～16:00

（弊社での修理・調整は行っておりません。予めご了承下さい）

<随時FAQをWebで更新しています。是非ご参照下さい> www.gforce-hobby.jp

販売元：株式会社ジーフォース

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-3-1 VORT神田9階

60%交換サービスについて

お使いの機体が壊れてしまった場合は、対象のパーツを交換することで修理できる様、アフターパーツを取り揃えておりますが、大きく破損し修理が難しい場合は60%交換サービスをご利用頂くことで、お得に新品に交換することができます。

① 交換する商品を発送します。



購入時に付属していた物一式を含めて、交換する商品を弊社宛に発送します。お送り頂く際は、伝票の備考欄に「60%交換希望」と記載の上、宅配伝票以外に別途、お送り先のご住所、電話番号、氏名を記載したメモを同梱してお送りください。

※お送り頂く際の送料はお客様負担でお願いします。

※商品以外の物(別途購入された電池等)は同梱しないで下さい。

発送先

株式会社ジーフォース

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-3-1 VORT神田9階

② 商品の到着を確認次第、新品を発送します。



商品の到着が確認され次第、代金引換サービスにて新品を発送致します。通常、到着から2～3営業日ほどで発送致します。

※お客様に発送する際の送料は弊社で負担させていただきます。

③ 商品が到着したら宅配業者に代金をお支払いください。



商品が到着したら、宅配業者に代金をお支払い頂き、お受け取り下さい。代金は商品定価の60%の金額+代引き手数料(550円)となります。

例) DE:LIGHT 税込定価17,380円 × 0.6 = 10,428円

代引き手数料 550円

計 10,978円

- 対象の商品が生産終了の場合はご希望に添えない場合がございます。ご了承下さい。
- 祝日・夏季休暇・年末年始休暇など、当社休業日の場合、発送までお時間をいただく場合がございます。
- その他、ご不明な点がございましたら、お気軽に弊社カスタマーサービスまでご連絡下さい。

製品カスタマーサポート：03-6206-0059

電話受付：月曜日～金曜日(祝日・夏期休暇・年末年始を除く) 受付時間：10:00～12:00 / 14:00～16:00

MEMO



お問い合わせ先

製品カスタマーサポート： **03-6206-0059**

電話受付：月曜日～金曜日（祝日・夏期休暇・年末年始を除く）

受付時間：10:00～12:00 / 14:00～16:00

（弊社での修理・調整は行っておりません。予めご了承下さい）

<随時FAQをWebで更新しています。是非ご参照下さい>

www.gforce-hobby.jp

販売元：株式会社ジーフォース
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-3-1 VORT神田9階

当社に無断で複写・転写・転載を禁じます
Copyright © 2022 G FORCE, Inc. All Rights Reserved

